

企業名： 丸紅

レポート名： 丸紅株式会社 統合報告書 2024

1. この会社が目指す姿が理解できるか（将来）

理解できる。序盤のページで価値創造ストーリーとして理念から将来目指す姿までが明示されており、見据えている方向が理解しやすい。

ただ、価値創造ストーリーが示されているセクション以外の各セクションでは目指す姿の表記はないため、始めに示された目指す姿を各セクションの始めにそれぞれ据えても良いのではないかと感じた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか（現在）

強みはいくつも強調されており理解しやすいが、その強みが業界平均や他社と比べてどのほど優位性があるのかはあまり読み取れない。ただ現状絶対的な指標が示されており、相対的なものを示す必要性があるのかは疑問であるため、改善するほどでもないと考える。

アメリカ市場での競争力の強調や、グリーン戦略による環境の配慮など、優位であるだろうことが容易に想像できる内容ではあるため、競争優位性が理解できると言ってよいだろう。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか（変化）

理解できる。リスク管理について細かく説明されており、CAOメッセージでもしっかりと文章化されて説明されているため、それぞれのリスクに対してどのように対策しているかが明確に理解でき、持続可能性に説得力がある。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

できると思う。まず人材を評価する側の人物の考えが対談形式でしっかりと明示されており、さらに人材の活かし方もかなりのボリュームで示されていて良い。また細かい取り組みや外部評価も載せていることで我々読み手が想像しやすくなっており、自身の価値向上

の達成が目指せると思えた。

特に、人材の成長ももちろんだが、健康経営や障害者雇用など今の時代に注目される内容が充実しており良いと思った。総合商社は一般的なイメージとして「厳しい、忙しすぎる」などがあるが、その中でもバランスを保てそうだということが統合報告書から見て取れた。実際の取り組みを詳細に載せていることで、働き方が想像できて良い。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

報告書の特に良かった点は2つ挙げられる。一点目はCEOメッセージだ。まず分量が短すぎず長すぎずでちょうどよく、そしてCEOが企業のことをしっかりと把握していることがよく伝わってくる。もう一点はレイアウトなど全体的なデザイン性である。図や表などの量やサイズ感の工夫で読みやすくなっており、文字量が多くなりやすいCEOやCFOのメッセージもフォントサイズや横幅が苦にならない配置であり読みやすい。

改善点としては、ESGに関する内容が各所に散らばっておりまたESGという言葉を使っていないという点について若干の指摘をしたい。E・S・Gそれぞれについては各所から読み取れるが、ESGとしてまとめていないため、一見注力していないのかという印象を受けてしまう。近年ESG投資が注目されその言葉自体に注目する投資家も多いと考えられるため、「ESGについて」といったような項目を作るとより理解されやすいと考えた。